

学校教育目標

志を持ち、心豊かでたくましく、よく学び考える 妹背牛の子



もせうし小だより



2年生 図工作品
版画「さかなのなかまたち」

妹背牛町立妹背牛小学校 学校だより 令和8年2月27日発行 No.12
発行：戸澤 法史 文責：穂山 拡希



子どもたちの「できる」を 育てるために

校長 戸澤法史

2月4日（水）、4月に入学する新1年生の1日入学がありました。どの子も明るく元気いっぱい、4月からの活躍が楽しみにになりました。

本校では、「自分で考え、決め、行動する力」（主体性）と「周りのことを自分のこととして考える姿勢」（当事者性）を育てることを大切にしています。そこで、この機会に、新1年生の保護者の皆様へ、次の3点についてお願いをしました。

①「どうする？」と考えさせる声かけを

すぐに答えを教えるのではなく、「どうしたい？」「どうすればよいと思う？」と問いかけ、子どもが考える時間を大切にさせていただきたいとお話ししました。困っている様子を見ると、つい助言をしたくなるものです。しかし、まずは子ども自身に考えさせることが重要です。たとえ誤った考えであっても、安全に関わらないことであれば温かく見守り、その後、一緒に答えを考えていくことが大切です。こうした積み重ねが、自分で考え判断しようとする姿勢を育て、主体性の土台となります。

②小さなことでも「自分で決める」経験を

服選びや学習の進め方など、日常生活の中で自分で選択し、決定する場面をつくっていただきたいとお伝えしました。結果が思うようにならなかった場合でも、「どうすればよかったのか」を振り返ることが、次につながる貴重な経験になります。また、自分で決めたことに最後まで取り組む経験は、粘り強さや責任感を育てることにもつながります。こうした積み重ねが、将来、自分で判断し行動できる力の基礎になります。

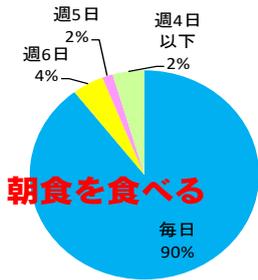
③家庭の中で役割を任せること

お手伝いや家族の一員としての役割を担う中で、「自分がやる意味」を実感することが、責任感や当事者意識の育成につながることをお話ししました。「自分がやらなければ周囲が困る」という経験は、自己有用感を高めることにもつながります。家庭の中で役割を果たす経験を重ねることで、自分が集団の一員であることを自覚していきます。そして、周囲と協力して行動しようとする意識が育まれていきます。

学校においても、日々の教育活動を通して主体性と当事者性の育成に努めてまいります。在校生のご家庭におかれましても、子育てを少し振り返っていただき、可能な範囲でご理解とご協力をお願いいたします。

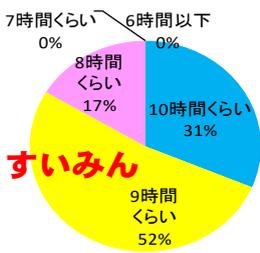
生活リズムチェックシートの集計結果について

1月19日(月)から25日(日)の期間で、生活リズムチェックを実施しました。ご家庭から励ましのお言葉や助言をいただいたことに感謝申し上げます。結果についてご紹介します。



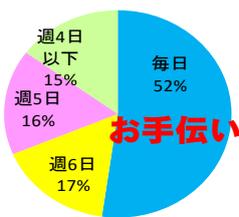
前回調査と比較しても、今回も多くの児童が**毎日朝食をとる習慣を継続**しており、本校の大きな強みであることが確認できました。朝食をしっかりとすることで、午前中の集中力や学習への意欲につながっている様子が見えかけます。一方で、少数ではありますが、時間的な余裕がなく簡単なもののみになる日も見られます。

引き続き、できる範囲で構いませんので、**朝食をとる習慣の継続**にご協力をお願いいたします。



睡眠時間については、前回調査同様、多くの児童が**十分な睡眠時間を確保**できており、生活リズムが概ね安定していることが分かりました。特に、起床時刻が安定している児童が多く、日常生活の基盤が整っている様子が見えかけます。一方、休日に就寝・起床時刻が遅くなり、平日との差が大きくなる傾向も一部に見られました。

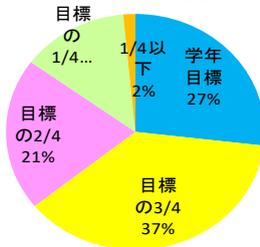
平日と休日で生活リズムが大きく変わらないよう、**就寝・起床時刻を意識する声かけ**を今後もよろしくをお願いいたします。



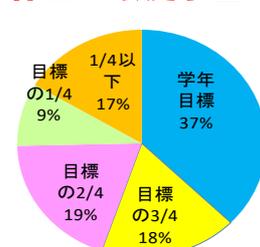
家庭でのお手伝いについては、前回調査から大きな変化はなく、多くの児童が**家庭の一員として役割をもって関わっている**ことが確認できました。お手伝いを通して、責任感や自己有用感を育てている様子が見えかけます。

今後も、特別なことでなくて構いませんので、無理のない範囲で「**自分の役割**」として継続できるお手伝いの設定をお願いいたします。

平日の家庭学習



休日の家庭学習



家庭学習については、前回調査と同様に、平日は一定の学習習慣が定着している一方、休日の学習時間には**個人差が見られる結果**となりました。学習時間の長さよりも、「**家庭で机に向かう習慣**」が身に付いているかどうか、今後の課題として挙げられます。

学校では、短時間でも継続して取り組むことの大切さを指導しています。

ご家庭におかれましても、「**少しの時間でも学習に取り組めたこと**」を認め、励ます声かけをしていただくと、学習習慣の定着につながります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度最後の家庭学習強調週間を振り返って

2月2日(月)～8日(日)は、今年度3回目の家庭学習強調週間でした。子ども達は、家庭学習の内容や時間、メディアとの接し方について自分で目標を立て、一週間の期間を過ごしてくれたことと思います。

実施後の状況から、自分の立てた学習計画を達成できたと回答した割合は70% (1期87%、2期86%)、家庭学習時間・メディア時間の達成率もいずれも6割程度となり、これまでよりやや低下が見られました。

結果からは、時間のコントロールが今後の課題となりますが、「自分で決めた目標に向かって取り組むこと」そのものが大切な学びであると考えます。学校でも規則正しく健康的な生活習慣の定着に向け指導を続けていきます。ご家庭でもお子さんの目標や取組について話題にいただき、励ましの声かけをいただきますようお願いいたします。

来年度の児童会役員が決まりました ～2月19日（木）

令和8年度前期の児童会役員選挙を行いました。立候補者とその責任者は、3年生以上の児童に向け「妹背牛小学校をもっとよくするため何ができるか」という具体的な公約や応援演説を堂々と発表しました。子ども達は真剣な表情で耳を傾け、同日に投票を実施しました。その結果、下記のとおり新役員が決まりました。

◆◆令和8年度前期児童会役員紹介(敬称略)◆◆

児童会会長（新6年）
児童会副会長（新6年）
児童会副会長（新5年）
児童会書記（新6年）
児童会書記（新5年）



新役員の皆さんには、演説で掲げた公約の実現に向けて力を合わせ、妹背牛小学校をさらによりよい学校へと発展させてくれることを期待しています。

除雪ボランティア…校舎の雪庇落としをしていただきました

2月12日（木）、妹背牛町土木技士会の皆様にご来校いただき、毎年恒例となっている校舎の雪庇落としや自転車置き場の屋根の雪下ろしなどのボランティア作業を行っていただきました。前週の暴風雪の影響で、屋根の雪庇が大きく張り出し、建物への出入りが危険な状況となっていました。丁寧な作業していただいたおかげで安全が確保されました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



1年生がお兄さん・お姉さんに～一日入学がありました

2月4日（水）の一日入学に、新1年生10名が来校し、本校1年生との交流の時間を持ちました。自己紹介やお絵かき、フルーツバスケットなどを通じ、和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごすことができました。1年生は、教室まで案内したり活動を優しく見守ったりと、ひと足早く、先輩としての姿を見せてくれました。4月からのさらなる成長が楽しみです。



新1年生の皆さんも、緊張しながらも話をよく聞き、立派な態度で参加していました。4月の入学式、そして新しい学校生活のスタートを、職員一同心より楽しみにしています。

講師の方を招き学習しました（6年生、1・2年生）

金融教育（6年生）

北空知信用金庫・明治安田生命の皆様にご来校いただき、6年生を対象に金融教育を行いました。「保険のしくみ」や「環境を守る取組」などについて、具体例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。やや専門的な内容も含まれていましたが、子ども達は講師の説明に真剣に耳を傾け、教科書の学習とは異なる実社会に繋がる知識を学ぶ貴重な機会となりました。



人権教室（1・2年生）

人権擁護委員の皆様にご来校いただき、紙芝居「白い魚とサメの子」を通して人権教室を行いました。物語をもとに、「思いやりの心をもつこと」や「相手に優しく接すること」の大切さについて考えることができました。最後には登場人物に宛てた手紙を書き、一人一人が学んだことを振り返りました。学習に参加した皆さんにとって心があたたまる時間となりました。

